

坂茂建築展 SHIGERU BAN

2020

5/11(月) - 7/5(日)

仮設住宅から美術館まで — 大分県立美術館 開館5周年記念事業








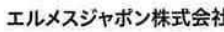
スウォッチ本社 ©Didier Boy de la Tour

〈時 間〉10:00 - 19:00(入場は閉館の30分前まで) ※金・土曜日は20:00まで閉館

〈観覧料〉一般 1,000(800)円 / 大学・高校生 700(500)円 **中学生以下無料** 〈会 場〉大分県立美術館1階展示室A・アトリウム

※()内は前売および20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会 及び KOTOBUKI 無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO 無料、UME 団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者1名は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。坂茂建築展をご覧の方はコレクション展無料! 坂茂建築展の会期中に限り、本展の半券提示でコレクション展を無料でご覧いただけます。

主催/坂茂建築展実行委員会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館 共催/大分合同新聞社、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送 後援/大分県、大分県教育委員会、NPO 法人大分県芸術、朝日新聞大分総局、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西日本社、NHK 大分放送局、エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレビコム株式会社

特別協賛/  Daiwa Lease  Takara Leben  PASONA  株式会社 ホットアルパム炭酸泉タブレット  三菱地所  エルメスジャパン株式会社

協賛/丸井産業株式会社、九州旅客鉄道株式会社、太陽工業株式会社、おおい建設人材育成ネットワーク、一般社団法人大分県電設業協会、小松マテール株式会社、株式会社タマディック、日本連合警備株式会社、株式会社 LIXIL、株式会社良品計画、医療法人社団 誠和会 牟田病院、株式会社エーアンドエーマテリアル、株式会社鹿島建設、株式会社佐藤工業、TOTO 株式会社、ナイス株式会社、YAMAGATA DESIGN 株式会社

特別協力/株式会社坂茂建築設計、慶応義塾大学環境情報学部坂茂研究会

協力/日本化工機材株式会社、鬼塚電気工事株式会社、株式会社翠豊、株式会社シェルター、ジャパン建材株式会社、株式会社長谷川萬治商店、株式会社マルゴ、元旦ビューティー工業株式会社、株式会社 YAMAGIWA、大分大学、大分県立芸術文化短期大学、日本文理大学建築学科、一般社団法人日本建築学会九州支部大分支所、公益財団法人大分県建築士会、一般社団法人大分県建築士事務所協会、公益財団法人日本建築家協会九州支部大分地域会、DABURA.m Inc.、「カドウ建築の愛 in OPAM」プロジェクトチーム

OPAM
Oita Prefectural Art Museum

【建築家・坂 茂氏の創作と活動を包括的に紹介する大規模個展】

大分県立美術館では、開館5周年を記念し、当館の設計者である世界的建築家、坂 茂氏の展覧会を開催します。

坂氏は、中国の伝統的な竹編み帽子から発想を得た屋根の構造を持つ「ボンピドー・センター・メス」(2010年、フランス)や、パリ郊外セガン島の音楽ホールを中心とした複合音楽施設「ラ・セヌ・ミュージカル」(2017年、フランス)など、世界中で建築設計に携わっています。その一方で、1995年の阪神淡路大震災の「紙のログハウス」や「紙の教会」、2011年の東日本大震災に活用された「避難所用間仕切りシステム」、2008年の中国・四川大地震の復興支援では「成都市華林小学校紙管仮設校舎」を建てるなど、災害支援活動も続けられています。これら多方面に及ぶ活動が高く評価され、2014年に建築界のノーベル賞とも言われるプリツカー賞を受賞されました。

本展は、坂 茂氏自らが設計した美術館での大規模個展です。坂氏が35年に渡りおこなってきた設計活動を、写真や図面、映像だけでなく、多数の実物大モックアップ(模型)でご紹介します。離れた場所にある建築を臨場感あふれるダイナミックな展示で、子どもから大人まで楽しんでいただける内容です。また25年に渡り世界各地で行ってきた災害支援活動についてもご紹介します。

その多角的な創作や活動とあわせて、当館を設計する中で考えた建物のフレキシビリティや、街に開かれた美術館への構想など、当館のコンセプトを体験できる会場構成もご覧いただけます。



【坂 茂氏プロフィール】

1957年東京生まれ 84年、クーバー・ユニオン建築学部を卒業
82年、磯崎新アトリエに勤務 85年、坂茂建築設計を設立
95年、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) コンサルタント(-99年)、NGO VAN設立
現在、慶応義塾大学環境情報学部教授

(主な作品)「カーテンウォールの家」、「ハノーバー国際博覧会日本館」、「ニコラス・G・ハイエク・センター」、「ボンピドー・センター・メス」、「大分県立美術館」、「静岡県富士山世界遺産センター」、「ラ・セヌ・ミュージカル」、「スウォッチ本社」、他

(主な受賞)フランス建築アカデミーゴールドメダル(2004)、アーノルド・W・プルナー記念賞建築部門世界建築賞(2005)、日本建築学会賞作品賞(2009)、フランス芸術文化勲章(2010)、芸術選奨文部科学大臣賞(2012)、プリツカー賞(2014)、クリスタルアワード(ダボス世界経済フォーラム、2015)、紫綬褒章(2017)、マザー・テレサ社会正義賞(2017)、読売国際協力賞(2019)、他多数



上から 避難所用間仕切りシステム ©Voluntary Architects' Network / ボンピドー・センター・メス ©Didier Boy de la Tour / ハノーバー国際博覧会2000日本館 ©Hiroyuki Hirai / 紙の大聖堂 ©Stephen Goodenough / ラ・セヌ・ミュージカル ©Didier Boy de la Tour / クアパーク長湯 ©Hiroyuki Hirai

〒870-0036 大分市寿町2番1号
Tel: 097-533-4500 / Fax: 097-533-4567

JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分
大分ICから車で10分

<http://www.opam.jp>

【チケット(当日券のみ)販売場所】大分県立美術館、iichiko 総合文化センター 1F インフォメーション、大分合同新聞社本社受付・同プレスセンター、トキハ会館 3F プレイガイド、豊後プロパン「ビートパワー」、エトウ南海堂、大分市府内五番街商店街振興組合、NPO 法人大分県芸術振、大分県職員消費生活協同組合、ローソンチケット(L84055)、チケットぴあ(P685-108)



展覧会情報



OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum